

# 豊橋ちぎり寮 小さな窓

令和2年3月号 豊橋ちぎり寮 豊橋市高師町字北原 1-107 TEL 0532-61-0117

顧みる ～定年を迎えて、思うこと～

今から38年前の昭和57年4月。私が福祉事業会に就職した年です。理事長から辞令をいただき、豊橋ちぎり寮に配属となりました。

大学で福祉の学部を出たものの、知的障害者に関する知識は乏しく、また豊橋という初めての場所での一人暮らし、知り合いや友人もない、不安材料ばかりのスタートでした。

学生気分が抜けないまま、社会人らしからぬ行動ばかりの私に、当時の施設長は「いつ辞めてもいいぞ」とよく叱られました。多分、この仕事を長く続けることはないだろう、という無責任な気持ちを持ちながら、働いていたことを覚えています。

そんな私でもこの仕事を今日まで続けてこられたのは、心優しき、そして時々憎たらしくて、楽しくて、かわいい当時の寮生さん（当時はちぎりの利用者さんをこう呼んでいました）の存在があったからです。

わからないことを丁寧に繰り返し教えてくれ、励ましてくれたAくん。失敗ばかりしている私を慰めてくれたHさん。宿直明けに必ず起こしに来てくれたCさん。一緒によくビールを飲んだSくん。屋根の上で一緒にお昼寝をしたTくん。せめぎあいの毎日だったYくん。とてもかわいい盲目のおじいさんKさん。いつも泣いてばかりのIさん。そんなみんなは私にとって、利用者でも障害者でもなく「師」で「友」であり「仲間」でした。

純粹で、裏表もなく、ストレートで、優しく、うるさくて憎たらしいけど愛おしい、「心優しき仲間」のおかげで、最後まで続けていくことができました。みなさん、本当にありがとう。

豊橋ちぎり寮の22年間は、驚きと楽しみ、感動と喜び、悲しみや別れなどが詰まった新鮮な毎日でした。保護者をはじめ関係する多くの皆様方に、たくさんのご支援いただきましたことを、深く感謝申し上げます。

寮長 濱 敦里



## 茶話会でお疲れ様



陽だまりで茶話会を開きました。みんなでゲームをして身体を動かしたり、簡単なおやつを食べたりして楽しい時間を過ごしました。みなさん1年間お疲れ様でした。

# 異動職員紹介



お世話になりました

幾田 修永  
→ケアハウスへ



今回ケアハウスかなだに異動になりました。2度目のちぎり寮は2年で終了。3度目は果たして。

光嶋 康洋  
→にしぐち学園へ



7年間お世話になりました。異動するのは寂しいですが、にしぐち学園で少しでも成長できるよう頑張ります。

永井 香絵  
→ゆたか学園へ



ちぎり寮に戻ってきて5年、毎日みなさんと楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

山口 道成  
→木もれ陽へ



利用者さんと笑い合い、楽しい時間を過ごすことができ、充実した6年間でした。ありがとうございました。

望月 貴由  
→ゆたか学園へ



保護者さんや利用者さんの支えがあり、5年間ちぎり寮で働くことができました。有難うございました。

前田 真菜  
→にしぐち学園へ



至らない点多々ありましたが、楽しくお仕事させて頂きました。本当にありがとうございました。

白井 千雅  
→ゆたか学園へ



2年間という短い間でしたが、皆さんのおかげで今まで楽しく仕事ことができました。ありがとうございました。

## 新型コロナ対策に日光浴



世界中で新型コロナが猛威を振るっており、外出の自粛などいろいろと我慢をしなければならぬ事が増えています。ちぎり寮でも利用者さんの外出を自粛するなどしています。

そんな時でも体調を崩さないように、みんなで楽しくおしゃべりをしたりして日光浴をすることで少しでも免疫力アップやストレス解消ができるように心がけています。



ありがとうございました！

【寄 付】太田康広様 浜道調剤薬局様